

# USF-212BS

## セットアップガイド

梱包品  
USF-212BS (1)、電源コード (1 セット)  
USB メモリー (1)、セットアップガイド (本書)

5年間修理無償  
保証サービス  
▶  
詳細は HP で

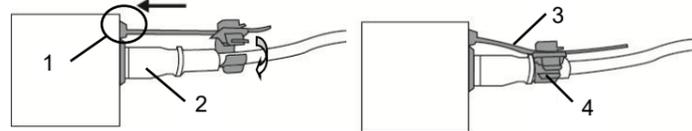


**FOR.A**<sup>®</sup>

24 時間 365 日電話受付  
03-3446-8575

### 1. AC コードクランプ取付方法

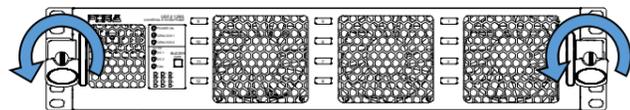
- 1) AC コードクランプのアンカー部分を AC インレット横の穴に差し込みます。
- 2) 電源コードを AC インレットに差し込みます。
- 3) ベルトで位置を調整します。
- 4) AC コードクランプを電源コードに巻き付けます。
- 5) 電源コードを軽く引っ張り電源コードが抜けないことを確認します。



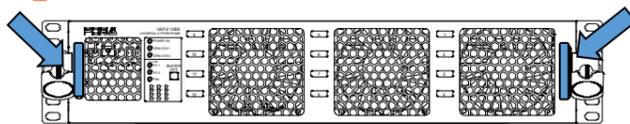
### 2. 前面パネルの開け方／閉め方

#### 前面パネルの開け方

USF フレームを机上などに置いている場合、前面パネルは開閉しづらくなります。無理に開閉すると破損の恐れがあります。必ずラックに設置してから、作業を行ってください。



1 前面パネルの左右 2 個のつまみネジを左側に回して緩めます。



2 取っ手をつかんで前面パネルを引き出します。前面パネルを開けている間は、ファンが停止します。

前面パネルが開放されていると、30 秒ごとに、「ピッ」という短音で開放を知らせるブザーが鳴ります。また、5 分 (初期設定) を経過すると、単音ブザーは通常の警告ブザーに変わります。設置等で、電源を投入したまま作業する場合は、短時間で行ってください。

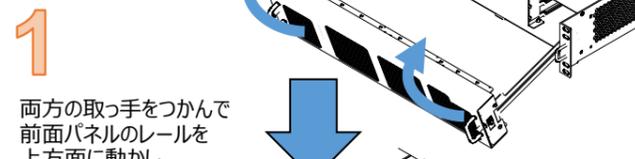


3 前面パネルを引き出します。

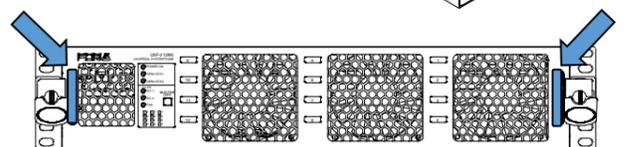
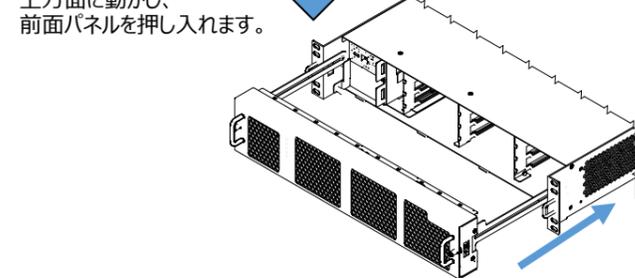


4 前面パネルのレールは、下方面に動きます。

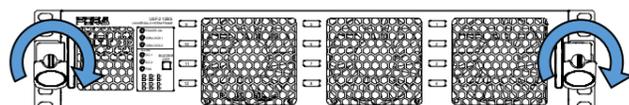
#### 前面パネルの閉め方



1 両方の取っ手をつかんで前面パネルのレールを上方面に動かし、前面パネルを押し入れます。



3 前面パネルの左右 2 個のつまみネジを右側に回して締めます。



3 前面パネルの左右 2 個のつまみネジを右側に回して締めます。

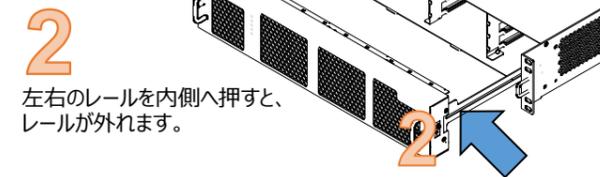
前面パネルを取り付けてから 20 秒後に、前面パネルの LED がすべて点灯します。LED が点灯しないときは、正常に前面パネルが取り付けられていません。前面パネルを付け直してください。

### 3. 前面パネルを取り外す／取り付ける

#### 前面パネルを取り外す

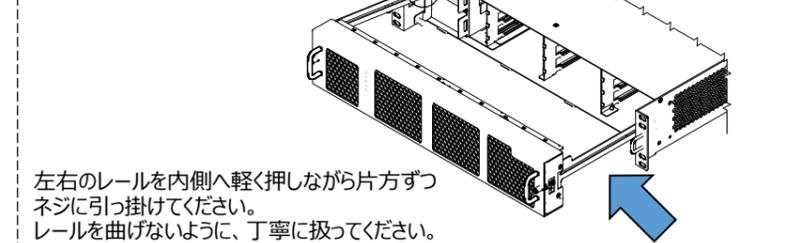


1 前面パネルを最後までまっすぐ引き出します。

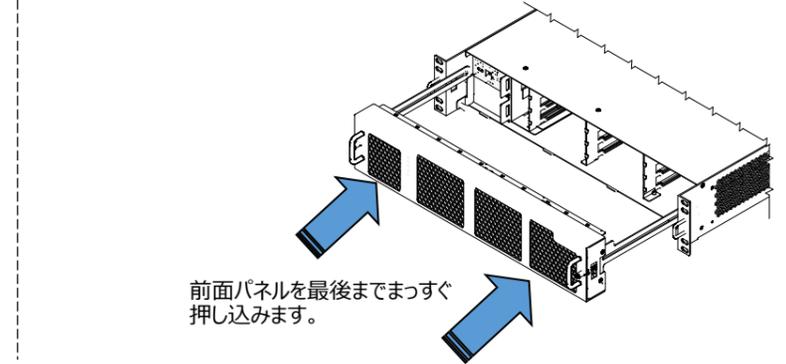


2 左右のレールを内側へ押し、レールが外れます。

#### 前面パネルを取り付ける



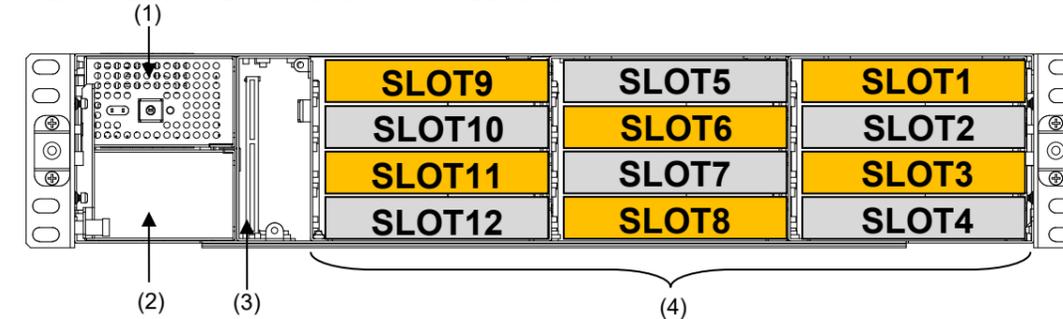
左右のレールを内側へ軽く押しながら片方ずつネジに引っ掛けてください。レールを曲げないように、丁寧に扱ってください。



前面パネルを最後までまっすぐ押し込みます。

### 4. 前面内部

前面パネルを取り外すと、以下のようなスロット構成となっています。



項番	名称	説明
(1)	電源 1 スロット	電源 1 ユニットが標準で装備されています。電源スイッチを ON にすると、電源が入ります。
(2)	電源 2 スロット	オプションの電源ユニット USF-212PS を実装することができます。USF-212PS を実装すると電源故障時の冗長運転が行えます。USF-212PS オプションを購入しない場合は、ブラックパネルが実装されています。
(3)	制御基板スロット	ネットワーク制御基板が実装されます。背面の LAN ポート経由での電源／ファンの SNMP 監視と ALARM コネクターからのアラーム出力が可能で、すべてのスロットのモジュールを制御できます。
(4)	USF モジュールスロット	USF モジュール専用スロットです。USF シリーズのフロントモジュールを実装します。モジュールの取扱方法については、各モジュールの取扱説明書を参照してください。

メールアドレスを登録すると、取扱説明書／各種資料がダウンロードできます。

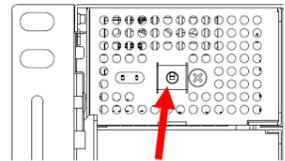
<https://www.for-a.co.jp/>



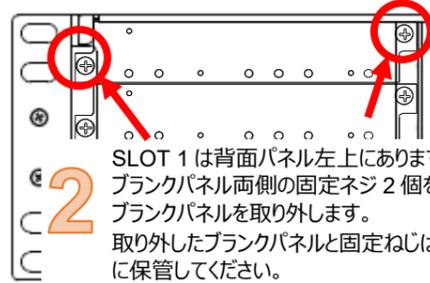
## 5. USF モジュールの取り付け

USF モジュールのタイプによって、実装可能なスロットが異なります。(「フロント/リアモジュール実装可能スロット」参照)  
スロットに余裕がある場合は、温度上昇を抑えるため、詰めずに間隔を空けてください。  
例として、SLOT 1 にモジュールを取り付ける手順を説明します。

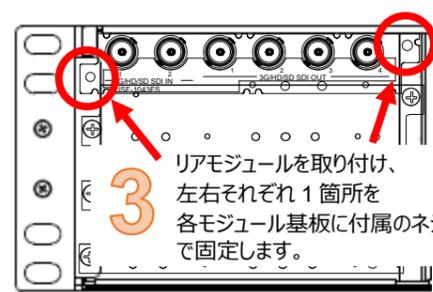
### USF リアモジュールの取り付け



1 前面パネルを開け、  
USF フレームの電源を  
OFF にします。



2 SLOT 1 は背面パネル左上にあります。  
ブラックパネル両側の固定ネジ 2 個を外し、  
ブラックパネルを取り外します。  
取り外したブラックパネルと固定ねじは大切に  
保管してください。

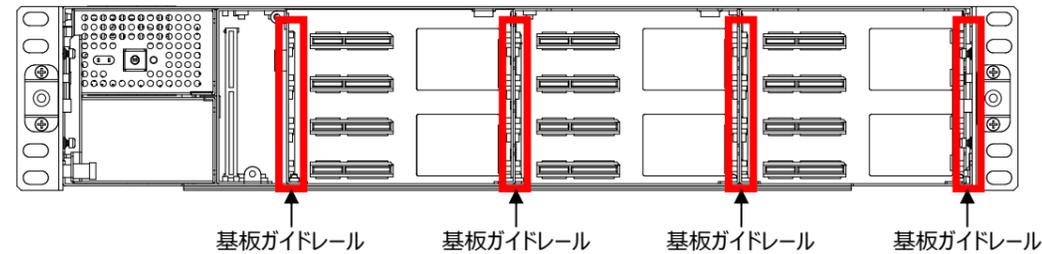


3 リアモジュールを取り付け、  
左右それぞれ 1 箇所を  
各モジュール基板に付属のネジ  
で固定します。

### USF フロントモジュールの取り付け

※ フロントモジュールの取り付けは、必ずリアモジュールの取り付け後に行なってください。

- (1) SLOT 1 は前面パネル右上にあります。(「4. 前面内部」を参照。)
- (2) ガイドレールに合わせてフロントモジュールを注意しながら少しずつ挿入してください。



- (3) フロントモジュールの取っ手部分を、リアモジュールと嵌合するまで押し込みます。

基板実装時に押し入れるときは、必ず取っ手で押し込んでください。取っ手を使わないと、基板上の部品が破損する場合があります。

### フロント/リアモジュール実装可能スロット

※USF-10IP シリーズのモジュールについては、モジュールの取扱説明書を参照してください。

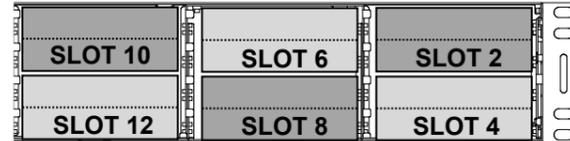
#### <タイプ 1>

フロント： 1 スロット(全スロット)  
リア： 1 スロット(全スロット)

対象モジュール:	
105DADA	402AADC
108ADA	1013MUX
1040VEA	1013DEMUX
1053DDA	1043FS
105DDA-12G	105FS-12G
105DDA-12GA	1043VM
204ADAC	80SDICS

#### <タイプ 2>

フロント： 1 スロット (偶数のみ)  
リア： 2 スロット (上下)



対象モジュール:	
1100VEA	1043SS
1044UDC	1043VTG-LI

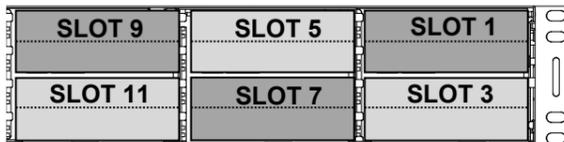
PC から制御する場合に、Processor Control GUI Launcher とモジュール用 GUI のインストールが必要なモジュール

対象モジュール:	
106UDC-12G	106DC-12G
101MDX4-12G	101MDX8-12G
105FS-12G	106TICO-12G

詳細は、Processor Control GUI Launcher の  
取扱説明書を参照してください。

#### <タイプ 3>

フロント： 1 スロット (奇数のみ)  
リア： 2 スロット (上下)



対象モジュール:	
106UDC-12G	101MDX4-12G
106DC-12G	101MDX8-12G
106TICO-12G	111DDA-12G

- USF モジュールはフロントモジュールとリアモジュールがセットになっています。フロントモジュールとリアモジュールは、必ず決められた位置のスロットに取り付けてください。
- 空きスロットにはブラックパネルを必ず付けてください。異物の混入や、内部温度上昇を防止するなどのメリットがあります。



注意

- 静電気による USF モジュールの損傷にご注意ください。
- USF フレームの筐体と人体を同電位にするため、静電気破壊防止用の人体アースをとって、基板の配線や部品の足などに直接に触れないようにして作業してください。
- 緊急の場合に備え、各 USF モジュールは電源を入れたままの取り付け、取り外しが可能です。通常は、電源を OFF にしてください。
- 電源を ON の状態で、フロントモジュールを取り付け、取り外しする際は、フロントパネルが開放状態になります。この間ファンは停止しますので、短時間で作業を行なってください。また、終了後、直ぐにフロントパネルを取り付けてください。
- 制御モジュール取り付け、取り外しの場合は、必ず電源を OFF にして行ってください。

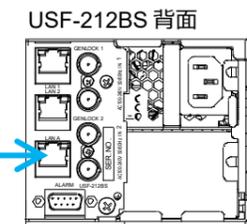
## 6. USF フレームと PC の接続

USF-212BS は LAN に接続することで、Web GUI / SNMP により USF モジュールを監視し、不具合をアラームで通知できます。  
ネットワークに接続するには、LAN A または LAN1/2 を使用する 2 通りの方法があります。システムに合わせて接続してください。

### LAN A ポートの接続



LAN A LED  
緑点灯：接続中  
オレンジ点滅：データ送受信中



LAN A IP Address  
工場出荷設定  
172.16.0.10

### LAN1/LAN2 ポートの接続

背面の LAN1 または LAN2 と接続してください。(下図は LAN1 と接続。)



LAN1 LED (LAN2 LED)  
緑点灯：接続中  
オレンジ点滅：データ送受信中



LAN 1/2 IP Address  
工場出荷設定  
192.168.0.10

Slot1~12 IP Address  
工場出荷設定  
192.168.0.11  
~192.168.0.22

## 7. ネットワークの初期設定

パソコンの Web ブラウザーを開き、アドレスを入力します。接続に成功すると、Web ブラウザーに Status 画面が表示されます。

LAN A と接続しているとき：<http://172.16.0.10/> (工場出荷時設定)

LAN1 または LAN2 と接続しているとき：<http://192.168.0.10/> (工場出荷時設定)

### IP アドレスの変更方法

- (1) Network タブをクリックします。
- (2) LAN A の IP アドレスを変更するときは WAN(LAN A) Settings の IP Address、LAN1/LAN2 の IP アドレスを変更するときは LAN(LAN1/2) Settings の IP Address の白枠部分に新しい IP アドレスを入力します。
- (3) Apply をクリックすると確認メッセージウィンドウが表示されます。**OK** をクリックします。
- (4) Utility タブをクリックして、Restart をクリックします。再起動確認ウィンドウが表示されるので、**OK** をクリックします。USF-212BS が再起動します。再起動後、設定が反映されます。



USF-212BS は内部の USF モジュールについても IP アドレスが割り当てられています。  
IP アドレス設定の詳細は、USF-212BS 取扱説明書「USF-212BS Web GUI」を参照してください。